

第3章 計画の基本的な考え方

1. 計画の基本理念

全ての人々が、自らの希望に応じた住まいや暮らし方を選択し、最期まで自分らしく暮らし続けることができる地域を築くことは、本市のめざす都市像である「何気ない日常に幸せを感じるまち」を実現するうえで極めて重要と考えられます。

また、社会構造や人々の暮らしの変化により、地域の多様な主体が世代や分野を超えてつながり支えあう地域共生社会の実現が求められていることも踏まえ、本計画の基本理念を次のとおり定めます。

**全ての人々が、最期まで自分らしく
暮らし続けることができる地域共生社会の実現**

2. 計画の基本目標

本計画では、「全ての人々が、最期まで自分らしく暮らし続けることができる地域共生社会の実現」という基本理念のもと、次の5つの基本目標を柱に各施策の展開を図ります。

基本 目標 1	健康でいきいきと暮らす ～介護予防と健康づくりの推進～	健康寿命の延伸に向け、介護予防*に対する動機づけにつながる活動とともに、データ分析に基づく効果的な介護予防の取り組みを進めます。
基本 目標 2	地域でつながり支えあう ～地域共生社会の実現に向けた 地域包括ケアシステムの強化～	住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、支えあいの地域づくりと地域包括ケアシステム*の強化に一体的に取り組めます。
基本 目標 3	認知症になっても自分らしく暮らす ～認知症施策の充実～	認知症になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、「共生」と「予防」の両輪で認知症の人を支える仕組みづくりを進めます。
基本 目標 4	住み慣れた地域で安心して暮らす ～高齢者福祉の推進～	高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援するとともに、生活支援や家族介護者の支援など、高齢者のより良い生活を支える施策の充実を図ります。
基本 目標 5	介護が必要になっても 自立した生活を営む ～介護サービスの充実と適正な運営の確保～	サービスを必要とする人が必要なサービスを利用することができるよう、介護サービスの充実と適正な運営の確保に努めます。

3. 施策体系

全ての人が、最期まで自分らしく暮らし続けることができる地域共生社会の実現

基本目標 1：健康でいきいきと暮らす～介護予防と健康づくりの推進～

- (1) 効果的な介護予防事業の展開
- (2) 健康づくりの推進
- (3) 介護予防・生活支援サービス事業*の推進

基本目標 2：地域でつながり支えあう

～地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの強化～

- (1) 地域課題を踏まえた生活支援体制の整備
- (2) 地域包括支援センター*の機能強化
- (3) 高齢者の権利擁護*
- (4) 在宅医療・介護連携の推進
- (5) 介護人材の確保及び業務の効率化

基本目標 3：認知症になっても自分らしく暮らす～認知症施策の充実～

- (1) 認知症の予防と啓発
- (2) 認知症支援体制の充実
- (3) 若年性認知症への対応

基本目標 4：住み慣れた地域で安心して暮らす～高齢者福祉の推進～

- (1) 高齢者の生きがいづくりの推進
- (2) 生涯学習*の充実と生涯スポーツの振興
- (3) 就労の支援
- (4) 住環境の整備と確保
- (5) 在宅高齢者支援の充実
- (6) 災害及び感染症対策に係る体制整備

基本目標 5：介護が必要になっても自立した生活を営む

～介護サービスの充実と適正な運営の確保～

- (1) 介護サービスの充実
- (2) 介護保険事業の適正な運営
- (3) 低所得の介護保険サービス利用者に対する支援